

さ さ え あ い 通 信



宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係 2020.12月号 (Vol.3)

〒901-2205 宜野湾市赤道2丁目7番1号(宜野湾市社会福祉センター内) TEL(098)892-6525

会えなくてもつながろう！ ～ コロナ禍での“孤立”を考える ～

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の兆しがみえず、誰もが不安を抱えていることだと思います。私達の生活も大きく変化し、これまでのように繋がるのが難しくなってしまった今、無理なく日常生活の延長で行う「ゆるやかな見守り」が再認識されています。

ゆるやかな見守りとは、普段の生活の中で、近所の方が「いつもと違う」「おかしいな」と異変を感じた際に声をかける、民生委員や自治会などに相談する、というちょっとした活動です。「気にかける」、異変を感じたら「相談する」、その思いが多くの方々に広がるといいですね。

自分を守ること、
家族を守ることを
第一に！「出来る事、
出来る方法」を一緒
に考えていきま
しょう！



地域福祉推進係
與儀係長

With
コロナ

孤立させないための仕組みづくり ～ 県内外の取り組みを紹介～

① つながりレター

- ・返信用ハガキでお手紙を出し、お返事を出してもらう。
- ・「元気ですカード」を配り、いつもの場所(公民館)まで届けに来てもらう。困りごとや心配ごとがある時は、それを書いてもらう。(直接会わなくてもいいように、入り口に箱を設置しておく)



② 電話リレー (例) 代表者 → Aさん → Bさん → Cさん → 最後は代表者へ戻る

- ・一日1回誰かと話そうプロジェクト「元気?」「何食べた?」など、高齢者相互の電話リレー。話題のニュースや他愛のない会話でOK! 一日1回声を出すことが大事!

③ お弁当配布

- ・ミニデイ中止期間中、感染予防対策をしながら、利用者全員と日頃の見守り対象者にお弁当を配布。ちょっと顔を見るだけでお互いに安心!(宜野湾市野嵩2区)

地域のいいね!

— 今月のスポットは **真志喜区** !! —

真志喜区自治会には、区民の皆さんが誰でも気軽に相談できる「なんでも相談室」があります。「なんでも相談室」は、支え合い活動委員会で拳がった「声」をカタチにし、昨年12月からスタートしました。

運営は、民生委員が中心となり、相談日には2名の相談員(民生委員・支え合い委員)が公民館で待機しています。

スタートから間もなく新型コロナウイルスが流行し、周知が十分ではない中、これまでに11件の相談がありました。「なんでも相談室」は、区民を「地域」や「専門機関」へつなぐ架け橋となっています!

いいね 真志喜区!!

◆気軽に相談できる場所「なんでも相談室」

